

別紙 1

1 幹部職員用 (別表 2 に掲げる職員)

人事評価記録書様式(幹部職員)

評価期間	年 月 日 ~ 年 月 日
------	---------------

被評価者	職名:	氏名:
------	-----	-----

期末面談	年 月 日
------	-------

評価者	職名:	氏名:	評価記入日:	年 月 日
調整者	職名:	氏名:	調整記入日:	年 月 日
実施権者	職名:	氏名:	確認日:	年 月 日

(I 能力評価:職種名 組織名 標準的な官職名用)

評価項目及び行動
<〇〇> 1
<〇〇> 2
<〇〇> 3
<〇〇> 4
重要マネジメント項目
評価項目及び行動
<〇〇> 5
<〇〇> 6

自己申告※重要マネジメント項目について留意

【全体評語等】

評価者	調整者
(所見) _____ (全体評語)	(所見) _____ (全体評語)

備考

※評価者及び調整者が評価を記入する際は、それぞれの(所見)(全体評語)欄を使用してください。

評価期間	年 月 日 ~ 年 月 日
------	---------------

被評価者	職名:	氏名:
		評価結果の開示希望

期首面談	年 月 日
期末面談	年 月 日

評価者	職名:	氏名:	評価記入日:	年 月 日
調整者	職名:	氏名:	調整記入日:	年 月 日
実施権者	職名:	氏名:	確認日:	年 月 日

(II 業績評価:幹部職員用)

目標・重点課題

自己申告

【全体評語等】

評価者		調整者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)

2 管理職員用（管理又は監督の地位にある職員。（本省内部部局、施設等機関及び地方支分部局又は外局における課室長級以上の職員。（幹部職員を除く））

人事評価記録書様式(管理職員)

評価期間	年 月 日 ~ 年 月 日	被評価者	所属:	職名:	氏名:	評価結果の開示希望
期末面談	年 月 日	評価者	所属・職名:	氏名:	評価記入日:	年 月 日
		調整者	所属・職名:	氏名:	調整記入日:	年 月 日
		実施権者	所属・職名:	氏名:	確認日:	年 月 日

(I 能力評価:職種名 組織名 標準的な官職名用)

評価項目及び行動／着眼点	自己申告		評価者		調整者
	(評語)	(行動事実等)	(評語)	(評語)	(評語)
<〇〇> 1 ① ②					
<〇〇> 2 ① ②					
<〇〇> 3 ① ②					
<〇〇> 4 ① ②					
重要マネジメント項目					
評価項目及び行動／着眼点	自己申告		評価者		調整者
	(評語)	(行動事実等)	(所見)	(評語)	(評語)
<〇〇> 5 ① ② ③					
<〇〇> 6 ① ② ③					
【所見等及び全体評語】					
評価者			調整者		
(所見)			(所見)		
(全体評語)			(全体評語)		
【秀でている点・改善点等】					
評価者					
(秀でている点(強み)、改善点(弱み)、育成に関する意見等)					

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	評価者
		(所見)

【3 全体評語等】

評価者		調整者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)

3 一般職員用(幹部職員及び管理職員以外の者)

人事評価記録書様式(一般職員)

評価期間 年 月 日 ~ 年 月 日

被評価者 所属: 職名: 氏名: 評価結果の開示希望

期末面談 年 月 日

評価者 所属・職名: 氏名: 評価記入日: 年 月 日
 調整者 所属・職名: 氏名: 調整記入日: 年 月 日
 実施権者 所属・職名: 氏名: 確認日: 年 月 日

(I 能力評価:職種名 組織名 標準的な官職名用)

評価項目及び行動/着眼点	自己申告		評価者	調整者
	(評語)	(行動事実等)	(評語)	(評語)
<〇〇> 1 ① ②				
<〇〇> 2 ① ②				
<〇〇> 3 ① ②				
<〇〇> 4 ① ②				
<〇〇> 5 ① ② ③				
<〇〇> 6 ① ② ③				

【所見等及び全体評語】

評価者	調整者
(所見) (全体評語)	(所見) (全体評語)

【秀でている点・改善点等】

評価者

(秀でている点(強み)、改善点(弱み)、育成に関する意見等)

被評価者	所属:	職名:	氏名:
------	-----	-----	-----

【2 目標以外の業務への取組状況等】

業務内容	自己申告 (目標以外の取組事項、突発事態への対応等)	評価者
		(所見)

【3 全体評語等】

評価者		調整者	
(所見)	(全体評語)	(所見)	(全体評語)

4 特別評価用

人事評価記録書様式(特別評価)

評価期間	年 月 日 ~ 年 月 日
------	---------------

職員	所属:	職名:	氏名:
			評価結果の開示希望(条件付昇任の職員に限る。)
評価者	所属職名:	氏名:	評価記入日: 年 月 日
調整者	所属職名:	氏名:	調整記入日: 年 月 日
実施権者	所属職名:	氏名:	確認日: 年 月 日

(能力評価: 級条件付任用期間中職員)

評価項目及び行動
<〇〇> 1
<〇〇> 2
<〇〇> 3
<〇〇> 4
<〇〇> 5
<〇〇> 6

【全体評語等】

評価者	調整者
(所見)	(所見)
(全体評語) 「可」 ・ 「不可」	(全体評語) 「可」 ・ 「不可」

1. 一般行政：(1)本省内部部局等

事務次官級(6項目)		本省内部部局 局長級(6項目)		本省内部部局 部長級(6項目)		本省内部部局 課長級(6項目行動16着眼点)		本省内部部局 室長級(5項目行動17着眼点)		本省内部部局 課長補佐級(6項目行動15着眼点)		本省内部部局 係長級(5項目行動13着眼点)		本省内部部局 係員級(4項目行動12着眼点)			
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部局を横断する課題や省の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、局の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、課の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、課の課題に責任を持って取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一において責任を持って課題に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
構想	2 大局的な視野と将来的な展望に立って、所管行政を推進する。	構想	2 所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先手をきき通し、国民の視点に立って、局の重要課題について基本的な方向性を示す。	構想	2 所管行政を取り巻く状況を的確に把握し、先手をきき通し、国民の視点に立って、担当分野の重要課題について基本的な方針を示す。	構想	①知識・情報収集 課内の情報の中核として、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②基本方針・成果認識 国家や国民の利益を第一とし、担当分野の課題を的確に把握し、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③成果認識 課の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	企画・立案	①知識・情報収集 課内の情報の中核として、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②行政ニーズの反映 行政ニーズや事業における課題を的確に把握し、施策の企画・立案を行う。 ③成果認識 課の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	企画・立案	①知識・情報収集 課内の情報の中核として、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②業務の実施 課の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③成果認識 課の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	課題対応	①知識・情報収集 課内の情報の中核として、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②問題点の把握 課の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③対応策の検討 課の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	知識・技術	①情報の整理 情報の整理を分りやすく分類・整理する。 ②知識の習得 知識に必要知識を身に付ける。	知識・技術	①情報の整理 情報の整理を分りやすく分類・整理する。 ②知識の習得 知識に必要知識を身に付ける。
判断	3 部局を横断する課題や省の重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	判断	3 局の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	判断	3 担当分野の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	判断	①最適な選択 取り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。 ②適時の判断 課の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。 ③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	判断	①最適な選択 取り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。 ②適時の判断 課の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。 ③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	判断	①適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。 ②リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	協調性	①協調性 上司・部下や他局等の担当者との協力的な関係を構築する。 ②指示の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。	協調性	①指示の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。 ②情報の伝達 情報を正確に伝達する。 ③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。	コミュニケーション	①指示の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。 ②情報の伝達 情報を正確に伝達する。 ③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。
説明・調整	4 所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、特に重要な課題について、高次元の調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 所管行政について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、特に重要な課題について、高次元の調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 担当分野について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、関係者と調整を行い、合意を形成する。 ①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、信頼から対外的な信頼関係を構築する。 ②折衝・調整 組織方針を実現できるような関係者と折衝・調整を行う。 ③適切な説明 所管行政について適切な説明を行う。	説明・調整	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、信頼から対外的な信頼関係を構築する。 ②折衝・調整 組織方針を実現できるような関係者と折衝・調整を行う。 ③適切な説明 担当する事案について適切な説明を行う。	説明・調整	①信頼関係の構築 他局局や他省庁の関係者との構築 ②説明 論点やポイントを明確にする ③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点は必ず主張し、粘り強く対応を行う。	説明	①信頼関係の構築 他局局や他省庁の関係者との構築 ②説明 論点やポイントを明確にする ③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点は必ず主張し、粘り強く対応を行う。	説明	①説明 担当する事案について分かりやすい説明を行う。 ②相手の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	説明	①説明 担当する事案について分かりやすい説明を行う。 ②相手の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	説明	①説明 担当する事案について分かりやすい説明を行う。 ②相手の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。
重要マネジメント項目	5 国民の視点に立ち、不断の業務見直しを省内に徹底する。	重要マネジメント項目	5 国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組む。	重要マネジメント項目	5 国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組む。	重要マネジメント項目	①先見性 先手で起こり得る事象や自分が持つ課題の発生を予測し、先手をきき通し、国民の視点に立って、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②効率性の確保 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③業務の見直し 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	重要マネジメント項目	①先見性 先手で起こり得る事象や自分が持つ課題の発生を予測し、先手をきき通し、国民の視点に立って、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②効率性の確保 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③業務の見直し 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	重要マネジメント項目	①先見性 先手で起こり得る事象や自分が持つ課題の発生を予測し、先手をきき通し、国民の視点に立って、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②効率性の確保 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③業務の見直し 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	重要マネジメント項目	①先見性 先手で起こり得る事象や自分が持つ課題の発生を予測し、先手をきき通し、国民の視点に立って、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②効率性の確保 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③業務の見直し 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	重要マネジメント項目	①先見性 先手で起こり得る事象や自分が持つ課題の発生を予測し、先手をきき通し、国民の視点に立って、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②効率性の確保 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③業務の見直し 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。	重要マネジメント項目	①先見性 先手で起こり得る事象や自分が持つ課題の発生を予測し、先手をきき通し、国民の視点に立って、業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ②効率性の確保 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。 ③業務の見直し 業務の推進に必要となる知識・情報を的確に把握する。
組織統率	6 強い指導力を発揮し、部局及び機関の統率を行い、成果を挙げる。	組織統率	6 指導力を発揮し、部下の志気を高め、組織を牽引し、成果を挙げる。	組織統率	6 指導力を発揮し、部下の統率を行い、成果を挙げる。	組織統率・人材育成	①業務の統率 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ②意思疎通と連携 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。	組織統率・人材育成	①業務の統率 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ②意思疎通と連携 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。	部下の育成・活用	①業務の統率 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ②意思疎通と連携 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。	部下の育成・活用	①業務の統率 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ②意思疎通と連携 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。	部下の育成・活用	①業務の統率 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ②意思疎通と連携 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。	部下の育成・活用	①業務の統率 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ②意思疎通と連携 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 課の業務の統率を行い、成果を挙げる。

付録 評価項目及び行動・着眼点一覧表

1. 一般行政 : (2) 部等設置広域管轄機関

部等設置広域管轄機関 局長級(6項目)		部等設置広域管轄機関 部長級(6項目行動16着眼点)		部等設置広域管轄機関 課長級(6項目行動15着眼点)		部等設置広域管轄機関 課長補佐級(6項目行動13着眼点)		部等設置広域管轄機関 係長級(6項目行動12着眼点)		部等設置広域管轄機関 係員級(4項目行動12着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の重要課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
			①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		
構想	2 本省の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の基本的な方向性を示す。	構想	2 本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の方針を示す。	実施施策の立案	2 組織方針に基づき、地域の行政ニーズを踏まえた実施施策を立案する。	方策・計画の立案・事業の実施	2 組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案し、又は事務事業を実施する。	課題対応	2 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。	知識・技術	2 業務に必要な知識・技術を習得する。
			①状況の構造的把握 部内の情報の中核として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。		①行政ニーズの把握 地域の行政ニーズや事業における課題を的確に把握する。		①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。		①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。		
判断	3 機関の責任者として、その重要課題について、豊富な知識・経験及び情報に基づき、冷静かつ迅速な判断を行う。	判断	3 部の責任者として、適切な判断を行う。	判断	3 所管する事業について、適切な判断を行う。	判断	3 自ら処理すべき事業について、適切な判断を行う。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
			①最適な選択 探り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①最適な選択 探り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえるから業務に取り組む。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者や協力的な関係を構築する。		
説明・調整	4 機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、困難な調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 部の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、局長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 所管する事業について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 担当する事業について論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。	説明	4 担当する事業について分かりやすい説明を行う。	コミュニケーション	4 上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。
			①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。		①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。		①信頼関係の構築 他部署や他省庁の担当者や信頼関係を構築する。		①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		
重要マネジメント項目	5 国民の視点に立ち、不断の業務見直しに率先して取り組む。	業務運営	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務運営	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務遂行	5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	業務遂行	5 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。	業務遂行	4 意欲的に業務に取り組む。
			①先見性 先々に起こり得る事態や自分が打つ手の及ばず影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらのごことを進める。		②効率性 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。		②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。		①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下と同僚と共有しながら計画的に業務を進める。		
組織統率	6 指導力を発揮し、組織統率を行い、成果を挙げる。	組織統率	6 管轄する組織の業務運営に関し、的確な指示を行うとともに、部下を統率し、成果を挙げる。	組織統率・人材育成	6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	6 部下の指導、育成及び活用を行う。	部下の育成	6 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	業務遂行	4 粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。
			①体制整備 管轄する組織全体の業務が効率的に執行できるように、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。		①業務の割り振り 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。		①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。		

1. 一般行政：(3) 広域管轄機関

広域管轄機関 所長級(6項目行動16着眼点)		広域管轄機関 課長級(6項目行動15着眼点)		広域管轄機関 課長補佐級(6項目行動13着眼点)		広域管轄機関 係長級(5項目行動12着眼点)		広域管轄機関 係員級(4項目行動12着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
構想	2 本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。	実施施策の立案	2 組織方針に基づき、地域の行政ニーズを踏まえた実施施策を立案する。	方策・計画の立案、事務事業の実施	2 組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案し、又は事務事業を実施する。	課題対応	2 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。	知識・技術	2 業務に必要な知識・技術を習得する。
	①状況の構造的把握 所内の情報の中核として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。		①行政ニーズの把握 地域の行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。		①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。		①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。		①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。
	②基本方針・成果の明示 本省から示された方針を受け、地域課題を踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、機関としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②成果認識 成果のイメージを明確に持ち、新たな取組への挑戦も含め、複数の選択肢を吟味して最適な実施施策を立案する。	②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、具体的な方策・計画の立案や事務事業の実施を行う。	②対応策の検討 担当する業務の課題に対して対応策を考える。	②知識・技術 業務に必要な知識を身に付ける。				
判断	3 機関の責任者として、適切な判断を行う。	判断	3 所管する事案について、適切な判断を行う。	判断	3 自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。		①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。
	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	②指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。		②情報の伝達 情報を正確に伝達する。	②誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。	
	③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。						③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。	④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。	
説明・調整	4 機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 所管する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。	説明	4 担当する事案について分かりやすい説明を行う。		
	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。		①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。		①信頼関係の構築 他部署や他省庁の担当者や信頼関係を構築する。		①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		
	②折衝・調整 機関の方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。	②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。					
	③適切な説明 機関の業務について適切な説明を行う。	③上部機関との連携 本省の担当者や日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。	③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はぶれずに主張する。	③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はぶれずに主張する。					
重要マネジメント項目	5 不断の業務見直しに率先して取り組む。	重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務遂行	5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	業務遂行	5 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。	業務遂行	4 意欲的に業務に取り組む。
	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手及ばず影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。		①柔軟性 緊急時、見通しに変化した時などの状況に応じて、適切に対応する。		①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進める。		①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。	②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。		③迅速な作業 迅速な作業を行う。		
	③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。		③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。	③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。		④粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。		
	④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。							
組織統率	6 組織統率を行い、成果を挙げる。	組織統率・人材育成	6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	6 部下の指導、育成及び活用を行う。				
	①体制整備 管轄する組織全体の業務が効率的に執行できるように、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。		②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。		
	②統率 管轄する機関全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、業務を確実に進め、成果を挙げる。	②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。						
	③意思疎通と進捗管理 部下との双方の適切なコミュニケーションにより管轄する組織全体の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し確実に進め、成果を挙げる。	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。							

1. 一般行政：(4)都府県管轄機関

都府県管轄機関 所長級(6項目行動16着眼点)	都府県管轄機関 部長級(6項目行動15着眼点)	都府県管轄機関 課長級(6項目行動15着眼点)	都府県管轄機関 課長補佐級(6項目行動13着眼点)	都府県管轄機関 係長級(5項目行動12着眼点)	都府県管轄機関 係員級(4項目行動12着眼点)
倫理 1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理 1 国民全体の奉仕者として、担当分野の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ①責任感 国民全体の奉仕者として、担当分野の課題に責任を持って取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理 1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理 1 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理 1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理 1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。 ①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。 ②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
構想 2 本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。 ①状況の把握 所内の情報の中枢として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。 ②業務方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、住民ニーズも踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、業務運営の基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	実施方針の立案 2 本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえた実施方針を示す。 ①状況の把握 部内の情報の中枢として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。 ②実施方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、住民ニーズも踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、部としての実施方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	実施計画の立案 2 組織方針に基づき、地域の行政ニーズを踏まえた実施計画を立案する。 ①行政ニーズの把握 住民ニーズや事案における課題を的確に把握する。 ②計画策定 部長の方針を受け、業務の実施計画を策定する。	方策・計画の立案、事業の実施 2 組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案し、又は事務事業を実施する。 ①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。 ②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、具体的な方策・計画の立案や事務事業の実施を行う。	課題対応 2 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。 ①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。 ②対策の検討 担当する業務の課題に対して対応策を考える。	知識・技術 2 業務に必要な知識・技術を習得する。 ①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。 ②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。
判断 3 機関の責任者として、適切な判断を行う。 ①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。 ②適時の判断 事業の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。 ③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	判断 3 担当分野の責任者として、適切な判断を行う。 ①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。 ②適時の判断 事業の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。 ③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。	判断 3 所管する事案について、適切な判断を行う。 ①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。 ②適時の判断 事業の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	判断 3 自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。 ①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。 ②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	協調性 3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。 ①協調性 上司・部下や他部署等の担当者や協力的な関係を構築する。 ②協働性 関係機関の担当者や関係者と連携して業務に取り組む。	コミュニケーション 3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。 ①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。 ②情報の伝達 情報を正確に伝達する。 ③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。
説明・調整 4 機関の方針について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。 ①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。 ②折衝・調整 機関の方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。 ③適切な説明 機関の業務について適切な説明を行う。	説明・調整 4 担当分野の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、所長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。 ①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。 ②折衝・調整 実施方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。 ③適切な説明 担当分野の業務について適切な説明を行う。	説明・調整 4 所管する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。 ①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。 ②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。 ③上部機関との連携 本省の担当者や日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。	説明・調整 4 担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。 ①信頼関係の構築 他部署や他省庁の担当者や信頼関係を構築する。 ②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。 ③調整 担当する事案について関係者と調整を行う。	説明 4 担当する事案について分かりやすい説明を行う。 ①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。 ②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	コミュニケーション 4 担当する事案について分かりやすい説明を行う。 ④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。
重要マネジメント項目 5 不断の業務見直しに率先して取り組む。 ①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を踏みながらものごとを進める。 ②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。 ③業務の見直し 機関全体の業務の優先順位を意識し、状況の変化に対応するため、大所高所から廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善に取り組む。	重要マネジメント項目 5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。 ①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を踏みながらものごとを進める。 ②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。 ③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	重要マネジメント項目 5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。 ①柔軟性 緊急時、見通しに変化した時などの状況に応じて、適切に対応する。 ②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。 ③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	業務遂行 5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。 ①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。 ②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	業務遂行 5 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。 ①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下と同僚と共有しながら計画的に業務を進める。 ②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。 ③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。 ④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	業務遂行 4 意欲的に業務に取り組む。 ①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。 ②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。 ③迅速な作業 迅速な作業を行う。 ④粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。
組織統率 6 組織統率を行い、成果を挙げる。 ①体制整備 業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。 ②統率 機関全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。 ③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し先述に導き、成果を挙げる。	組織統率 6 業務の進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げる。 ①体制整備 業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。 ②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し先述に導き、成果を挙げる。	組織統率・人材育成 6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げる。同時に、部下の指導・育成を行う。 ①業務の割り振り 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。 ②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し先述に導き、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	部下の育成・活用 6 部下の指導、育成及び活用を行う。 ①業務の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。 ②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	業務遂行 ①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下と同僚と共有しながら計画的に業務を進める。 ②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。 ③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。 ④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	業務遂行 ④粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。

1. 一般行政：(5)その他の機関

	その他の機関 所長級(6項目行動15着観点)	その他の機関 次長級(6項目行動13着観点)	その他の機関 課長級(6項目行動16着観点)	その他の機関 係長級(5項目行動12着観点)	その他の機関 係員級(4項目行動12着観点)
倫理	1 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	1 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組む。	①責任感 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組む。	①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。	①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。	①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
執行方針の立案	2 本省等の方針に基づき、的確な状況認識の下、業務の執行方針を示す。	2 本省等の方針に基づき、的確な状況認識の下、所長を助け、業務の執行方針を示す。	2 的確に状況を把握し、困難な事案に適切に対応する。	2 担当業務についての知識・技術に基づき、事案に適切に対応する。	2 業務に必要な知識・技術を習得する。
	①状況の把握 所内の情報の中核として業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①状況の把握 所内の情報の中核として業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	①状況の把握 業務に関連する状況を的確に把握する。	①知識・情報収集 担当業務における知識・技術の向上・情報収集を行う。	①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。
	②組織目標・成果の明示 本省等から示された方針に基づき、新たな取組への挑戦も含め、業務の執行方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②組織目標・成果の明示 本省等から示された方針に基づき、所長を助け、新たな取組への挑戦も含め、業務の執行方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②困難・特殊事案への対応 高いレベルの知識・技術や経験を基に、困難な事案や特殊事案にも対応する。	②適切な判断 適切な判断材料を収集し、合理的な判断を下す。	②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。
判断	3 機関の責任者として、適切な判断を行う。	3 所長を助ける者として、適切な判断を行う。	3 所管する業務の執行において、適切な判断を行う。	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	①公正な判断 事案に対し、法令等に基づき公正な判断を下す。	①公正な判断 事案に対し、所長を助け、法令等に基づき公正な判断を下す。	①適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。	①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。	①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。
	②最適な選択 採り得る選択肢の中から、現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	②最適な選択 採り得る選択肢の中から、現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	②最適な選択 採り得る選択肢の中から、現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	②協働性 関係機関の担当者や関係者と連携して業務に取り組む。	②情報の伝達 情報を正確に伝達する。
	③リスク対応 緊急時や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。				③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。
説明・調整	4 機関の業務について適切な説明を行うとともに、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。	4 機関の業務について適切な説明を行うとともに、所長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。	4 所管する業務の執行において適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。	4 担当する業務の執行において分かりやすい説明を行う。	④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。
	①信頼関係の構築 円滑な業務執行が行えるよう、日頃から関係機関や関係団体の担当者、利害関係者と信頼関係を構築する。	①信頼関係の構築 円滑な業務執行が行えるよう、日頃から関係機関や関係団体の担当者、利害関係者と信頼関係を構築する。	①信頼関係の構築 関係機関・関係団体の担当者や信頼関係を構築する。	①外部説明 具体的に分かりやすく説明する。	
	②交渉・説明 機関を代表し対外的な説明・交渉を行う。	②交渉・説明 所長を助け、対外的な説明・交渉を行う。	②交渉・説明 担当業務について、対外的な交渉・説明を行う。	②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。	
			③上部機関との連携 本省等の担当者や日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。		
重要マネジメント項目	5 不断の業務見直しに率先して取り組む。	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	5 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。	4 意欲的に業務に取り組む。
	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の先が及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらもことを進める。	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の先が及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらもことを進める。	①柔軟性 問題やトラブルが起こった時などの状況に応じて柔軟に対応する。	①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進める。	①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。	②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。
	③業務の見直し 機関全体の業務の優先順位を意識し、状況の変化に対応するため、大所高所から廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善に取り組む。	③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。	③迅速な作業 迅速な作業を行う。
組織統率	6 組織統率を行い、成果を挙げる。	6 業務の進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げる。	6 業務の執行方針を徹底し、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	④粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。
	①体制整備 業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。	①体制整備 業務執行が円滑に行われるよう職員を配置し、柔軟な働き方を推奨しながら、必要に応じた所轄を超えた応援態勢を組む。	①体制整備 課題の重要性や部下の役割・能力・状況等を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、ミスやトラブルが生じないよう適切な職員を配置し、必要に応じた応援態勢を組む。		
	②統率 機関全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し先達に導き、成果を挙げる。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗状況を把握し、適切な指示を行う。		
	③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し先達に導き、成果を挙げる。		③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。		

1. 一般行政：(6)施設等機関

施設等機関 所長級(6項目行動16着観点)	施設等機関 部長級(6項目行動16着観点)	施設等機関 課長級(6項目行動175着観点)	施設等機関 課長補佐級(6項目行動13着観点)	施設等機関 係長級(5項目行動12着観点)	施設等機関 係員級(4項目行動12着観点)
<p>倫理</p> <p>1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の信頼に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p> <p>①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の信頼に責任を持って取り組む。</p> <p>②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p>	<p>倫理</p> <p>1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p> <p>①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組む。</p> <p>②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p>	<p>倫理</p> <p>1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p> <p>①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。</p> <p>②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p>	<p>倫理</p> <p>1 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p> <p>①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組む。</p> <p>②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p>	<p>倫理</p> <p>1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p> <p>①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。</p> <p>②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p>	<p>倫理</p> <p>1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p> <p>①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。</p> <p>②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。</p>
<p>構想</p> <p>2 本省等の方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。</p> <p>①状況の構造的把握 所内の情報の中枢として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。</p> <p>②基本方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、行政ニーズも踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、業務運営の基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。</p>	<p>構想</p> <p>2 本省等の方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。</p> <p>①状況の構造的把握 部内の情報の中枢として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。</p> <p>②基本方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、行政ニーズも踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、部としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。</p>	<p>実施施策の立案</p> <p>2 組織方針に基づき、行政ニーズを踏まえた実施施策を立案する。</p> <p>①行政ニーズの把握 行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。</p> <p>②成果認識 成果のイメージを明確に持ち、新たな取組への挑戦も含め、複数の選択肢を吟味して最適な実施施策を立案する。</p>	<p>方策・計画の立案、事務事業の実施</p> <p>2 組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案し、又は事務事業を実施する。</p> <p>①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。</p> <p>②事務事業の実施 事案における課題を的確に把握し、具体的な方策・計画の立案や事務事業の実施を行う。</p>	<p>課題対応</p> <p>2 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、課題に対応する。</p> <p>①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。</p> <p>②対応策の検討 担当する業務の課題に対して対応策を考える。</p>	<p>知識・技術</p> <p>2 業務に必要な知識・技術を習得する。</p> <p>①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。</p> <p>②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。</p>
<p>判断</p> <p>3 機関の責任者として、豊富な知識・経験に基づき、適切な判断を行う。</p> <p>①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。</p> <p>②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。</p> <p>③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。</p>	<p>判断</p> <p>3 担当分野の責任者として、適切な判断を行う。</p> <p>①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。</p> <p>②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。</p> <p>③リスク対応 状況の変化や問題が生じた場合の早期対応を適切に行う。</p>	<p>判断</p> <p>3 所管する事案について、適切な判断を行う。</p> <p>①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。</p> <p>②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。</p>	<p>判断</p> <p>3 自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。</p> <p>①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。</p> <p>②適切な判断 担当する事案について適切な判断を行う。</p>	<p>協調性</p> <p>3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。</p> <p>①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。</p> <p>②指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。</p>	<p>コミュニケーション</p> <p>3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。</p> <p>①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。</p> <p>②情報の伝達 情報を正確に伝達する。</p> <p>③誠実な対応 相手に誠実な対応をする。</p> <p>④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。</p>
<p>説明・調整</p> <p>4 機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。</p> <p>①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。</p> <p>②折衝・調整 機関の方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。</p> <p>③適切な説明 機関の業務について適切な説明を行う。</p>	<p>説明・調整</p> <p>4 担当分野の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、所長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。</p> <p>①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外的な信頼関係を構築する。</p> <p>②折衝・調整 組織方針を実現できるよう関係者と折衝・調整を行う。</p> <p>③適切な説明 担当分野の業務について適切な説明を行う。</p>	<p>説明・調整</p> <p>4 所管する事案について適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。</p> <p>①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。</p> <p>②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。</p> <p>③上部機関との連携 本省の担当者や日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。</p>	<p>説明・調整</p> <p>4 担当する事案について論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。</p> <p>①信頼関係の構築 他部署や他省庁の担当者と信頼関係を構築する。</p> <p>②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。</p> <p>③交渉 相手の意見や理解・尊重する一方、主張すべき点はふれず主張する。</p>	<p>説明</p> <p>4 担当する事案について分かりやすい説明を行う。</p> <p>①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。</p> <p>②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。</p>	<p>コミュニケーション</p> <p>④上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。</p>
<p>重要マネジメント項目</p> <p>5 不断の業務見直しに率先して取り組む。</p> <p>①先見性 先々で起こり得る事象や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を踏みながらものを進める。</p> <p>②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。</p> <p>③業務の見直し 機関全体の業務の優先順位を認識し、状況の変化に対応するため、大所高所から廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善に取り組む。</p>	<p>重要マネジメント項目</p> <p>5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。</p> <p>①先見性 先々で起こり得る事象や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を踏みながらものを進める。</p> <p>②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。</p> <p>③業務の見直し 業務の優先順位を認識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。</p>	<p>重要マネジメント項目</p> <p>5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。</p> <p>①柔軟性 緊急時、見通しや状況が変化した時などの状況に応じて、適切に対応する。</p> <p>②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。</p> <p>③業務の見直し 業務の優先順位を認識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。</p>	<p>業務遂行</p> <p>5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。</p> <p>①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。</p> <p>②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。</p>	<p>業務遂行</p> <p>5 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。</p> <p>①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進める。</p> <p>②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。</p> <p>③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。</p> <p>④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。</p>	<p>業務遂行</p> <p>4 意欲的に業務に取り組む。</p> <p>①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。</p> <p>②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。</p> <p>③迅速な作業 迅速な作業を行う。</p> <p>④粘り強さ 失敗や困難にめげずに仕事を進める。</p>
<p>組織統率</p> <p>6 指導力を発揮し、組織統率を行い、成果を挙げる。</p> <p>①体制整備 業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。</p> <p>②統率 機関全体の一体性を確保するための、的確な指示を行う。</p> <p>③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより業務の進捗状況の把握を行い、適切な指示を出し迅速に導き、成果を挙げる。</p>	<p>組織統率</p> <p>6 組織の業務運営に関し、的確な指示を行うとともに、部下を統率し、成果を挙げる。</p> <p>①体制整備 業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。</p> <p>②統率 組織全体の一体性を確保するための、的確な指示を行う。</p> <p>③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより組織全体の業務の進捗状況の把握を行い、適切な指示を出し迅速に導き、成果を挙げる。</p>	<p>組織統率・人材育成</p> <p>6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。</p> <p>①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。</p> <p>②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、業務を迅速に導き、成果を挙げる。</p> <p>③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支え、その力を引き出す。</p>	<p>部下の育成・活用</p> <p>6 部下の指導、育成及び活用を行う。</p> <p>①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。</p> <p>②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。</p>	<p>業務遂行</p> <p>④部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。</p>	

2. 公安：(1) 地方厚生(支)局本局

地方厚生(支)局本局 部長級(6項目行動16着着眼点)		地方厚生(支)局本局 課長級(6項目行動16着着眼点)		地方厚生(支)局本局 課長補佐級(6項目行動13着着眼点)		地方厚生(支)局本局 係長級(5項目行動12着着眼点)		地方厚生(支)局本局 係員級(4項目行動12着着眼点)						
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					
	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組む。					
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。					
構想	2 本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の方針を示す。 ①状況の構造的把握 部内の情報の中核として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。 ②基本方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、地域情勢等を踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、業務運営の方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	方策の立案	2 的確に状況を把握し、所管する事案に適切に対応するための方策を立てる。 ①状況の構造的把握 業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。 ②対応方針の立案 所管する事案に適切に対応するための方策を立てる。	事案対応	2 十分な知識・技術及び経験に基づき、困難な事案に適切に対応する。 ①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。 ②事案への対応 知識・技術や経験を基に、困難な事案に適切に対応する。	事案対応	2 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、事案に適切に対応する。 ①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。 ②事案への対応 知識・技術や経験を基に、事案に適切に対応する。	知識・技術	2 業務に必要な知識・技術を習得する。 ①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。 ②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。					
	3 部の責任者として、状況に応じて適切な判断を行うとともに、問題が発生した場合に早期対応を適切に行う。 ①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。 ②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。 ③問題発生時の対応 問題が発生した場合の早期対応を適切に行う。		判断		3 所管する業務の実施において、状況に応じて適切な判断を行うとともに、問題が発生した場合に早期対応を適切に行う。 ①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。 ②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、状況に応じて適切なタイミングで判断を行う。 ③問題発生時の対応 問題が発生した場合の早期対応を適切に行う。		判断		3 自ら進めるべき業務の実施において、状況に応じて適切な判断を行う。 ①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を適切に押さえながら業務に取り組む。 ②適切な判断 業務の危険性や部下の安全の確保等を考慮し、担当する事案について状況に応じた適切な判断を行う。	協調性・報告・連絡	3 上司・部下等と協力的な関係を構築し、適切な状況報告・連絡等を行うとともに、上司の指示を部下に徹底する。 ①協調性 上司・部下や他部署等の担当者との協力的な関係を構築する。 ②適切な報告・連絡等 状況に応じて、上司や周囲に適切な状況報告・連絡等を行う。 ③指示・指導の理解等 上司や周囲の指示・指導を正しく理解し、上司の指示を部下に徹底する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、適切な状況報告・連絡等を行う。 ①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。 ②情報の伝達 情報を正確に伝達する。 ③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。	
	4 部の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、局長を助け、関係者と調整を行い、合意を形成する。 ①信頼関係 円滑な合意形成に資するよう、日頃から対外関係の構築を構築する。 ②折衝・調整 組織方針を実現できるように関係者と折衝・調整を行う。 ③適切な説明 部の業務について適切な説明を行う。				説明・調整				4 所管する業務の実施において適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。 ①信頼関係 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。 ②折衝・調整 所管する事案について関係者と折衝・調整を行う。 ③上部機関との連携 本省の担当者や日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。		説明・調整		4 担当する業務の実施において論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。 ①信頼関係 他部署や他省庁の担当者との信頼関係を構築する。 ②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明を行う。 ③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はふれずに主張する。	説明
重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。 ①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。 ②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。 ③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	重要マネジメント項目		5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。 ①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。 ②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。 ③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。		業務遂行		5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。 ①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。 ②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	業務遂行				5 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。 ①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下と同僚と共有しながら計画的に業務を進める。 ②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。 ③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。	
	組織統率		6 管轄する組織の業務運営に関し、的確な指示を行うとともに、部下を統率し、成果を挙げる。 ①体制整備 管轄する組織全体の業務が効率的に執行できるように、柔軟な動き方を推奨しながら体制を整える。 ②統率 管轄する組織全体の一体性を確保するために、的確な指示を行う。 ③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより管轄する組織全体の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。	組織統率・人材育成			6 適切に業務を配分した上、進捗管理及び部下の指揮を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。 ①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な動き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。 ②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、部下を的確に指揮することにより業務を完遂に導き、成果を挙げる。 ③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	部下の育成・活用		6 部下の指導、育成及び活用を行う。 ①作業の割り振り 部下の一人ずつの作業の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。 ②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。		部下の育成・活用		

2. 公安：(2) 地方麻薬取締支所

地方麻薬取締支所 所長級(6項目行動16着眼点)		地方麻薬取締支所 課長級(6項目行動16着眼点)		地方麻薬取締支所 課長補佐級(6項目行動13着眼点)		地方麻薬取締支所 係長級(5項目行動12着眼点)		地方麻薬取締支所 係員級(4項目行動12着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の第一線において責任を持って課題に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
構想	2 本省等の方針に基づき、地域情勢を踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。	方策の立案	2 的確に状況を把握し、所管する事案に適切に対応するための方策を立てる。	事案対応	2 十分な知識・技術及び経験に基づき、困難な事案に適切に対応する。	事案対応	2 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得し、事案に適切に対応する。	知識・技術	2 業務に必要な知識・技術を習得する。
	①状況の構造的把握 所内の情報の中枢として業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。		①状況の構造的把握 業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。		①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。		①知識・情報収集 担当業務における専門的知識・技術の習得・情報収集を行う。		①情報の整理 情報や資料を分かりやすく分類・整理する。
	②業務方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、地域の治安情勢等を踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、業務運営の方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。	②対応方針の立案 所管する事案に適切に対応するための方策を立てる。	②事案への対応 知識・技術や経験を基に、困難な事案に適切に対応する。	②事案への対応 知識・技術や経験を基に、事案に適切に対応する。	②事案への対応 知識・技術や経験を基に、事案に適切に対応する。	②知識習得 業務に必要な知識を身に付ける。			
判断	3 機関の責任者として、状況に応じて適切な判断を行うとともに、問題が発生した場合に早期対応を適切に行う。	判断	3 所管する業務の実施において、状況に応じて適切な判断を行うとともに、問題が発生した場合に早期対応を適切に行う。	判断	3 自ら進めるべき業務の実施において、状況に応じて適切な判断を行う。	協調性・報告・連絡	3 上司・部下等と協力的な関係を構築し、適切な状況報告・連絡等を行うとともに、上司の指示を部下に徹底する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、適切な状況報告・連絡等を行う。
	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねるものの仕分けなど、自分の果たすべき役割を適切に押さえるながら業務に取り組む。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。		①指示・指導の理解 上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。
	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、状況に応じて適切なタイミングで判断を行う。	②適切な判断 業務の危険性や部下の安全の確保等を考慮し、担当する事案について状況に応じた適切な判断を行う。	②適切な判断 業務の危険性や部下の安全の確保等を考慮し、担当する事案について状況に応じた適切な判断を行う。	②適切な報告・連絡等 関係機関の担当者や関係者と連携して業務に取り組む。	②情報の伝達 情報を正確に伝達する。			
	③問題発生時の対応 問題が発生した場合の早期対応を適切に行う。	③問題発生時の対応 問題が発生した場合の早期対応を適切に行う。			③指示・指導の理解等 上司や周囲の指示・指導を正しく理解し、上司の指示を部下に徹底する。	③誠実な対応 相手に対し誠実な対応をする。			
説明・調整	4 機関の業務について適切な説明を行うとともに、組織方針の実現に向け、対外的に機関を代表し、調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 所管する業務の実施において適切な説明を行うとともに、関係者と調整を行い、合意を形成する。	説明・調整	4 担当する業務の実施において論理的な説明を行うとともに、関係者と調整を行う。	説明	4 担当する業務の実施において分かりやすい説明を行う。	コミュニケーション	4 担当する業務の実施において適切な状況報告・連絡等を行う。
	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、日頃から関係構築の信頼関係を構築する。		①信頼関係の構築 関係機関や関係団体等の関係者との信頼関係を構築する。		①信頼関係の構築 他部署や他省庁の担当者や信頼関係を構築する。		①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		
	②折衝・調整 組織方針を実現できるような関係者と折衝・調整を行う。	②折衝・調整 所管する業務の実施について関係者と折衝・調整を行う。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②説明 論点やポイントを明確にすることにより、論理的で簡潔な説明をする。	②相手の話の理解 相手の意見・要望等を正しく理解して説明を行う。				
	③適切な説明 機関の業務について適切な説明を行う。	③上部機関との連携 本省の担当者や日頃から連絡をとり、必要な報告を適切に行う。	③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はふれずに主張する。	③交渉 相手の意見を理解・尊重する一方、主張すべき点はふれずに主張する。					
重要マネジメント項目	5 不断の業務見直しに率先して取り組む。	重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務遂行	5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	業務遂行	5 計画的に業務を進め、担当業務全体のチェックを行い、確実に業務を遂行する。	業務遂行	4 意欲的に業務に取り組む。
	①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。		①先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものごとを進める。		①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進める。		①積極性 自分の仕事の範囲を限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②業務改善 作業の取捨選択や担当業務のやり方の見直しなど業務の改善に取り組む。	②正確性 ミスや抜け落ちを生じさせないよう担当業務全体のチェックを行う。	②正確性 ミスや抜け落ちが生じないよう作業のチェックを行う。			
	③業務の見直し 機関全体の業務について、状況の変化に対応するため、大所高所から廃止を含めた見直しや、改善に取り組む。	③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。			③粘り強さ 困難な状況においても粘り強く仕事を進める。	③迅速な作業 迅速な作業を行う。			
組織統率	6 組織統制を行い、成果を挙げる。	組織統率・人材育成	6 適切に業務を配分した上、進捗管理及び部下の指揮を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	6 部下の指導、育成及び活用を行う。	部下の育成・活用	6 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	業務遂行	失散や困難にめげずに仕事を進める。
	①体制整備 管轄する組織全体の業務が効率的に執行できるよう、柔軟な動き方を推奨しながら体制を整える。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な動き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①作業の割り振り 部下の一人ずつの作業の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。		①計画性 最終期限を意識し、進捗状況を部下や同僚と共有しながら計画的に業務を進める。		②迅速な作業 迅速な作業を行う。
	②統率 組織全体の一体性を確保するため、的確な指示を行う。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより情報の共有や部下の仕事の進捗状況の把握を行い、部下を的確に指揮することにより業務を迅速に導き、成果を挙げる。	②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。					
	③意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより管轄する組織全体の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し迅速に導き、成果を挙げる。	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。							

3. 研究

部長級(6項目行動15着視点)		室長級(6項目行動15着視点)		主任研究官級(6項目行動14着視点)		研究官級(5項目行動11着視点)				
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。			
	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。			
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。			
構想	2 本省等の方針及び行政ニーズを踏まえ、重点的に取り組むべき研究課題を示す。	企画・立案	2 組織方針に基づき、取り組むべき研究に関する企画・立案を行う。	方策・計画の立案・研究の実施	2 組織や上司の方針に基づいて、具体的な方策・計画を立案するとともに、自ら業務の中核を担う。	知識・技術・情報収集	2 担当業務に必要な専門的知識・技術を習得するとともに、業務に関する情報を収集・整理する。			
	①行政ニーズの把握 行政ニーズや事業における課題を的確に把握する。		①ニーズの把握 業務に求められるニーズを的確に把握し、組織(部門)としての方針に反映させる。		①ニーズの把握 業務に求められるニーズを的確に把握し、組織(部門)としての方針に反映させる。		①知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮する。			
	②基本方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、課題を踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、研究課題の基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。		②企画・立案 組織方針を基に、新たな取組への挑戦も含め、研究に関する企画立案を行う。		②企画・立案 組織方針を基に、新たな取組への挑戦も含め、研究に関する企画立案を行う。		②情報収集 業務に関する情報を収集・整理する。			
知識・技術・説明	3 高度な専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な研究に関し合理的な分析・解釈及び論理的な説明を行う。	知識・技術・説明	3 高度な専門的知識・技術及び経験に基づき、所管する研究に関し合理的な分析・解釈及び論理的な説明を行う。	知識・技術・説明	3 専門的知識・技術に基づき、担当する研究に関し合理的な分析・解釈及び論理的な説明を行う。	解釈・説明	3 情報及びデータを合理的に分析・解釈するとともに、分かりやすい説明を行う。			
	①高度な知識・技術 高度な専門的知識・技術や豊富な経験を有し、困難な研究事例や特殊事例にも対応する。		①高度な知識・技術 高度な専門的知識・技術及び経験を有し、所管する研究事例に対応する。		①知識・技術 専門的知識・技術を有し、担当する研究事例に対応する。		①データの解釈 情報やデータを合理的に分析・解釈する。			
	②分析 困難な研究に関し合理的な分析・解釈を行う。		②分析 所管する研究に関し合理的な分析・解釈を行う。		②分析 担当する研究に関し合理的な分析・解釈を行う。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。			
調整	4 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	調整	4 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	調整	4 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行う。	協調性	4 上司・部下等と協力的な関係を構築する。			
	①信頼関係の構築 関係機関・関係団体との信頼関係を構築する。		①信頼関係の構築 関係機関・関係団体との信頼関係を構築する。		①円滑な調整 関係機関・部署との調整を円滑に行う。		①部内のコミュニケーション 上司・部下や関係部署と円滑なコミュニケーションを行う。			
	②調整 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行う。		②調整 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行う。		②関係者との連携 関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②関係者との連携 関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。			
重要マネジメント項目	業務運営	重要マネジメント項目	業務運営	業務遂行	業務遂行	業務遂行	5 計画的に業務を進め、確実に業務を遂行する。			
							①トラブル対応 問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。	①トラブル対応 問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。	①効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	①計画性 最終期限を意識して計画的に業務を進める。
							②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。	②正確性 ミスを生じさせないよう担当業務全体をチェックする。
	③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。		③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。		③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。		③粘り強さ 粘り強く仕事を進める。			
	6 組織の業務運営に関し、的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。		6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。		6 部下等の指導を行う。					
	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。					
②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。	②部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。								
③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。									

4. 医療

部長級(6項目行動13着眼点)		課長級(5項目行動11着眼点)		医長級(5項目行動11着眼点)		医師級(4項目行動10着眼点)	
倫理	1 医師としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 医師としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
	①責任感 医師としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 医師としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。		①責任感 医師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
構想	2 本省等の方針に基づき、業務に対するニーズを踏まえ、業務運営の方針を示す。	知識・技術・診療	2 高度な医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診療を行う。	知識・技術・診療	2 医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診療を行う。	知識・技術・診療	2 医学的知識・技術に基づき、適切な診療を行う。
	①行政ニーズの把握 行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。		①的確な診断 高度な医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例についての的確な診断を行う。		①適切な診断 医学的知識・技術及び経験に基づき、困難な症例について、適切な診断を行う。		①適切な診断 医学的知識・技術に基づき、適切な診断を行う。
	②基本方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、課題を踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、部としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。		②適切な治療 困難な症例について、診断結果に基づき適切な治療を行う。		②適切な治療 困難な症例について、診断結果に基づき適切な治療を行う。		②適切な治療 診断結果に基づき適切な治療を行う。
					③知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮する。		③知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮する。
知識・技術・診療	3 高度な医学的知識・技術及び豊富な経験に基づき、困難な症例について、適切な診療を行う。	判断	3 所管する事案について、適切な判断を行う。	信頼関係の構築	3 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築する。	協調性	3 上司・同僚等と協力的な関係を構築する。
	①的確な診断 高度な医学的知識・技術及び豊富な経験に基づき、困難な症例についての的確な診断を行う。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者との協力的な関係を構築する。		①協調性 上司・同僚や他部署等の担当者との協力的な関係を構築する。
	②適切な診療 困難な症例について、診断結果に基づき適切な治療を行う。		②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。
							③上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。
判断	4 部の責任者として、適切な判断を行う。	調整	4 円滑に診療業務を遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。
	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①信頼関係の構築 関係する組織の担当者との信頼関係を構築する。		①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。		①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。
	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②調整 円滑な診療が行えるよう関係者と調整を行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。
調整	5 円滑に診療業務を遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	重要マネジメント項目 組織統率・人材育成	5 適切に業務を配分した上、業務の実施状況を管理し、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	5 部下の指導、育成及び活用を行う。		
	①信頼関係の構築 関係する組織の担当者との信頼関係を構築する。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。		
	②調整 円滑な診療が行えるよう関係者と調整を行う。		②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。		②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。		
			③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。				
重要マネジメント項目 組織統率	6 医療業務の運営に関し、的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。						
	①体制整備 部全体の業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。						
	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。						
	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。						

5. 調剤

部長級(6項目行動13着眼点)		副部長級(5項目行動11着眼点)		主任薬剤師級(5項目行動10着眼点)		薬剤師級(4項目行動8着眼点)	
倫理	1 薬剤師としての責任を目覚めつつ、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 薬剤師としての責任を自覚しつつ、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 薬剤師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 薬剤師としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
	①責任感 薬剤師としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 薬剤師としての責任を自覚しつつ、部の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 薬剤師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。		①責任感 薬剤師としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
構想	2 本省等の方針に基づき、業務に対するニーズを踏まえ、業務運営の方針を示す。	知識・技術・業務遂行	2 薬剤に関する業務についての十分な専門的知識・技術及び経験に基づき、部長を助け、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 薬剤に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 薬剤に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、適切に業務を行う。
	①行政ニーズの把握 行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。		①迅速・適切な業務遂行 十分な専門的知識・技術や豊富な経験に基き適切な業務遂行、薬剤部長を助け、困難な事案や特殊事例にも対応する。		①迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。		①適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。
	②基本方針・成果の明示 本省等から示された方針を受け、課題を踏まえ、新たな取組への挑戦も含め、機関としての基本的な方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。		②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。		②知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務上発揮する。		②知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。
知識・技術・業務遂行	3 薬剤に関する業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	判断	3 部長を助ける者として、適切な判断を行う。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	①迅速・適切な業務遂行 十分な専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事案や特殊事例にも対応する。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。		①協調性 上司・同僚と協力的な関係を構築する。
	②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。		②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		②上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告をする。
判断	4 部の責任者として、適切な判断を行う。	連携の確保	4 関係者との信頼関係を構築し、連携して事案に対応する。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行う。
	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①円滑な調整 関係する組織の担当者との調整を円滑に行う。		①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。		①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。
	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②関係者との連携 関係する組織の担当者との信頼関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した説明・指導を適切に行う。
調整	5 円滑に業務を遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	重要マネジメント項目 組織統率・人材育成	5 適切に業務を配分した上、業務の実施状況を管理し、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	5 部下の指導、育成及び活用を行う。		
	①信頼関係の構築 関係する組織の担当者信頼関係を構築する。		①業務配分 課題の重要性や部下の役割・能力を踏まえて、組織の中で適切に業務を配分する。		①業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。		
	②調整 円滑に業務が行えるよう関係者と調整を行う。		②進捗管理 部下の業務の進捗管理を行う。		②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。		
			③能力開発 適切な指導を行い能力開発を促す。				
重要マネジメント項目 組織統率	6 業務の運営に関し、的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。						
	①体制整備 部全体の業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。						
	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。						
	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。						

7. その他医療技術

技師長級(5項目行動11着観点)		副技師長級(5項目行動10着観点)		主任技師級(5項目行動10着観点)		技師級(4項目行動8着観点)	
倫理	1 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
	①責任感 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。		①責任感 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。		①責任感 医療技術に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
知識・技術・業務遂行	2 医療技術に関する業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 医療技術に関する業務についての専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、技師長を助け、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 医療技術に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 医療技術に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、適切に業務を行う。
	①迅速・適切な業務遂行 十分な専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事案や特殊事例にも対応する。		①迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事案や特殊事例にも対応する。		①迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。		①適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。
	②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。		②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。		②知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務に向上発揮する。		②知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。
判断	3 所管する事案について、適切な判断を行う。	信頼関係の構築	3 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築する。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	①最適な戦略 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。		①協調性 上司・同僚と協力的な関係を構築する。
	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		②上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告を報告する。
調整	4 円滑に業務を遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行う。
	①信頼関係の構築 関係する組織の担当者や信頼関係を構築する。		①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。		①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。		①役割認識 患者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。
	②調整 円滑に業務が行えるよう関係者と調整を行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した説明・指導を適切に行う。
重要マネジメント項目	5 適切に業務を配分した上、業務の実施状況を管理し、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	5 部下の指導、育成及び活用を行う。	部下の育成	5 部下の指導・育成を行う。		
	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。		①業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。		
	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。		②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。		②指導・育成 部下を指導・育成する。		
	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。						

8. 看護

部長級(6項目行動13着眼点)		副部長級(5項目行動10着眼点)		看護師長級(5項目行動10着眼点)		副看護師長級(5項目行動10着眼点)		看護師級(4項目行動8着眼点)	
倫理	1 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、部の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。	倫理	1 看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
	①責任感		看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、部の課題に責任を持って取り組む。		①責任感		看護に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ業務に取り組む。		①責任感
	②公正性	②公正性	②公正性	②公正性	②公正性	②公正性	②公正性	②公正性	②公正性
構想	2 本省等の方針に基づき、業務に対するニーズを踏まえ、業務運営の方針を示す。	知識・技術・業務遂行	2 看護に関する業務についての十分な専門的知識・技術及び経験に基づき、看護部長を助け、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 看護に関する業務についての専門的知識・技術及び経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 看護に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 看護に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、適切に業務を行う。
	①行政ニーズの把握		行政ニーズや事案における課題を的確に把握する。		①迅速・適切な業務遂行		十分な専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、部長を助け、困難な事案や特殊事例にも対応する。		①迅速・適切な業務遂行
	②基本方針・成果の明示	②課題把握	②課題把握	②課題把握	②知識・技術の向上	②知識・技術の向上	②知識・技術の向上	②知識・技術の向上	②知識・技術の向上
知識・技術・業務遂行	3 看護に関する業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	判断	3 部長を助ける者として、適切な判断を行う。	信頼関係の構築	3 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築し、連携して事案に対応する。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	①迅速・適切な業務遂行		十分な専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事案や特殊事例にも対応する。		①最適な選択		採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①協調性
	②課題把握	②適時の判断	②適時の判断	②説明	②説明	②説明	②説明	②説明	②説明
判断	4 部の責任者として、適切な判断を行う。	連携の確保	4 関係者との信頼関係を構築し、連携して事案に対応する。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	患者等への説明・指導	4 患者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行う。
	①最適な選択		採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①円滑な調整		関係する組織の担当者との調整を円滑に行う。		①役割認識
	②適時の判断	②適時の判断	②関係者との連携	②説明・指導	②説明・指導	②説明・指導	②説明・指導	②説明・指導	②説明・指導
調整	5 円滑に業務を遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	重要マネジメント項目 組織統率・人材育成	5 適切に業務を配分した上、業務の実施状況を管理し、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	5 部下の指導、育成及び活用を行う。	部下の育成	5 部下の指導・育成を行う。	部下の育成	
	①信頼関係の構築		関係する組織の担当者との信頼関係を構築する。		①業務の割当て		課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえ、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①業務配分
	②調整	②調整	②部下の成長支援	②説明・指導	②部下の育成	②指導・育成	②指導・育成	②指導・育成	②指導・育成
重要マネジメント項目 組織統率	6 看護業務の運営に関し、的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。								
	①体制整備	部全体の業務が効率的に執行できるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。							
	②意思疎通と進捗管理	部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部の業務の進捗状況の把握を行い、適切に指示を出し完遂に導き、成果を挙げる。							
	③部下の成長支援	適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。							

9. 福祉

		課長級(5項目行動10着眼点)		室長級(5項目行動10着眼点)		主任専門職級(4項目行動8着眼点)		専門職級(4項目行動8着眼点)	
倫理	1 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
	①責任感 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 福祉に関する業務に従事する者としての責任を自覚し、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		
	②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。
知識・技術・業務遂行	2 福祉に関する業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 福祉に関する業務についての専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 福祉に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 福祉に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。	知識・技術・業務遂行	2 福祉に関する業務についての専門的知識・技術に基づき、迅速かつ適切に業務を行う。
	①迅速・適切な業務遂行 十分な専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事業や特殊事例にも対応する。		①迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術や豊富な経験に基づき、困難な事業や特殊事例にも対応する。		①迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。		①迅速・適切な業務遂行 専門的知識・技術に基づき、事案に対応する。		
	②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。		②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。		②知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務向上を発揮する。		②知識・技術の向上 自助努力により知識や技術を向上させ、業務向上を発揮する。		②知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。
判断	3 所管する事案について、適切な判断を行う。	信頼関係の構築	3 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築する。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。		
	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。		①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。		①協調性 上司・同僚と協力的な関係を構築する。		
	②適時の判断 事案の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		②上司への報告 問題が生じたときには速やかに上司に報告を報告する。		
連携の確保	4 関係者との信頼関係を構築し、連携して事案に対応する。	利用者等への説明・指導	4 利用者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	利用者等への説明・指導	4 利用者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	利用者等への説明・指導	4 利用者やその家族等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、説明・指導を行う。		
	①円滑な調整 関係する組織の担当者との調整を円滑に行う。		①役割認識 利用者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。		①役割認識 利用者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。		①役割認識 利用者やその家族と円滑なコミュニケーションを行う。		
	②関係者の連携 関係する組織の担当者との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した理解しやすい説明・指導を適切に行う。		②説明・指導 説明する相手方に対応した説明・指導を適切に行う。		
重要マネジメント項目 組織統率・人材育成	5 適切に業務を配分した上、業務の実施状況を管理し、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	5 部下の指導、育成及び活用を行う。						
	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①業務配分 部下の配置、作業の割り振りを行う。						
	②部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。		②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。						

10. 理療教育等

教務統括官級(6項目行動15着眼点)		課長級(6項目行動16着眼点)		主任教官級(5項目行動12着眼点)		教官級(4項目行動9着眼点)		
倫理	1 理療教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 理療教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 理療教育等に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 理療教育等に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	
	①責任感 理療教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 理療教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 理療教育等に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、担当業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 理療教育等に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、担当業務の課題に責任を持って取り組む。	
	②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	
企画・立案	2 理療教育についての知識・技術及び豊富な経験に基づき、本省等の方針及び業務に対するニーズを踏まえ、研修・教育カリキュラムを編成する。	企画・立案	2 理療教育についての知識・技術及び経験に基づき、本省等の方針及び業務に対するニーズを踏まえ、研修・教育カリキュラムを編成する。	講義・指導	2 担当科目の講義・指導に必要な理療教育等についての知識・技術及び経験に基づき、講義計画を立案し、適切に講義・指導を行うとともに、研修・教育カリキュラムを立案する。	講義・指導	2 担当科目の講義・指導に必要な理療教育等についての知識・技術に基づき、講義計画を立案し、適切に講義・指導を行う。	
	①知識・情報収集 業務に関連する知識の習得・情報収集を幅広く行う。		①知識・情報収集 業務に関連する知識の向上・情報収集を幅広く行う。		①知識・技術の向上 担当科目にかかる知識や技術を向上させる。		①知識・技術の向上 担当科目にかかる知識や技術を向上させる。	
	②ニーズの反映 業務に求められるニーズを的確に把握し、組織(部門)としての方針に反映させる。		②ニーズの反映 業務に求められるニーズを的確に把握し、方針に反映させる。		②講義計画の策定 知識・技術及び経験に基づき担当科目にかかる講義計画を適切に策定する。		②講義計画の策定 知識・技術に基づき担当科目にかかる講義計画を適切に策定する。	
	③企画・立案 部門全体の研修・教育カリキュラムを適切に策定する。		③企画・立案 研修・教育カリキュラムを適切に策定する。		③講義・指導の実施 受講者が知識・技術を習得できるよう、適切に講義・指導を行う。		③講義・指導の実施 受講者が知識・技術を習得できるよう、適切に講義・指導を行う。	
判断	3 担当分野の責任者として、適切な判断を行う。	判断	3 所管する事案について、適切な判断を行う。	進路支援の方策の立案・実施	3 利用者等の進路支援、職場開拓等の支援の方策を立案し、支援を適切に行う。	進路支援の実施	3 利用者等の進路支援、職場開拓等の支援を適切に行う。	
	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①方策の立案 利用者等の進路支援・職場開拓などの支援の方策を策定する。		①信頼関係の構築 利用者等をよく把握し、信頼関係を構築する。	
	②適時の判断 事業の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②適時の判断 事業の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。		②支援の実施 利用者等に対する支援を適切に行う。		②支援の実施 利用者等に対する進路支援、職場開拓などの支援を適切に行う。	
調整	4 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	調整	4 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行う。	業務遂行	4 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	業務遂行	4 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	
	①信頼関係の構築 関係機関・関係団体との信頼関係を構築する。		①部内のコミュニケーション 上司・部下や関係部署と円滑なコミュニケーションを行う。		①効率的な業務 効率的に業務を進める。		①効率的な業務 効率的に業務を進める。	
	②折衝・調整 円滑に業務が行えるよう関係者と折衝・調整を行う。		②信頼関係 受講者をよく把握し、信頼関係を構築する。		②段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		②段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。	
	③調整 円滑に業務が行えるよう関係者と折衝・調整を行う。		③調整 円滑に業務が行えるよう関係者と折衝・調整を行う。					
重要マネジメント項目	業務運営	重要マネジメント項目	業務運営	教官への指導・助言	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	教官への指導・助言	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	
					①トラブル対応 問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。		①トラブル対応 問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。	①業務配分 教官の配置、作業の割り振りを行う。
					②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。		②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②指導・助言 教官に対し的確な助言をし、問題があるときは適切に指導する。
	③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。		③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。					
	6 適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。		6 適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。					
	①体制整備 円滑に業務遂行ができるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。		①体制整備 円滑に業務遂行ができるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。					
②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。							
③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。							

11. 看護教育

部長級(6項目行動16着眼点)		教育主事級(6項目行動15着眼点)		教官級(4項目行動9着眼点)		
倫理	1 看護教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 看護教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	倫理	1 看護教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	
	①責任感 看護教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、高い倫理感を有し、担当分野の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 看護教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 看護教育に関する業務に従事する者としての責任を自覚しつつ、担当業務の課題に責任を持って取り組む。	
	②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、国民全体の奉仕者として、公正に職務を遂行する。	
講義・指導・企画・立案	2 看護に関する教育、研究及び実務上の知識・技術並びに豊富な経験に基づき、講義計画を立案し、適切に講義・指導を行うとともに、本省等の方針及び業務に対するニーズを踏まえ、研修・教育カリキュラムを編成する。	講義・指導・企画・立案	2 担当科目の講義・指導に必要な看護教育についての知識・技術及び経験に基づき、講義計画を立案し、適切に講義・指導を行うとともに、研修・教育カリキュラムを編成する。	講義・指導	2 担当科目の講義・指導に必要な看護教育についての知識・技術に基づき、講義計画を立案し、適切に講義・指導を行う。	
	①知識・情報収集 業務に関連する知識の向上・情報収集を幅広く行う。		①知識・情報収集 業務に関連する知識の向上・情報収集を幅広く行う。		①知識・技術の向上 担当科目にかかる知識や技術を向上させる。	
	②講義・指導 知識・技術及び豊富な経験に基づき講義計画を立案し、適切に講義・指導を行う。		②講義計画の策定 知識・技術及び経験に基づき担当科目にかかる講義計画を適切に策定する。		②講義計画の策定 知識・技術に基づき担当科目にかかる講義計画を適切に策定する。	
	③ニーズ 業務に求められるニーズを的確に把握し、組織(部)としての方針を主体的に決定する。		③講義・指導の実施 受講者が知識・技術を習得できるよう、適切に講義・指導を行う。		③講義・指導の実施 受講者が知識・技術を習得できるよう、適切に講義・指導を行う。	
④企画・立案 部全体の研修・教育カリキュラムを適切に策定する。	④企画・立案 研修・教育カリキュラムを適切に策定する。	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。				
判断	3 担当分野の責任者として、適切な判断を行う。	判断	3 所管する事実について、適切な判断を行う。	コミュニケーション	①協調性 上司・部下や他部署等の担当者と協力的な関係を構築する。	
	①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		①最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		②説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。	
	②適時の判断 事業の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。	②適時の判断 事業の優先順位や全体に与える影響を考慮し、適切なタイミングで判断を行う。				
調整	4 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行い、合意を形成する。	調整	4 円滑に業務が遂行できるよう関係者と調整を行う。	業務遂行	4 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	
	①信頼関係の構築 関係機関・関係団体との信頼関係を構築する。		①部内のコミュニケーション 上司・部下や関係部署と円滑なコミュニケーションを行う。		①効率的な業務遂行 効率的に業務を進める。	
	②折衝・調整 円滑に業務が行えるよう関係者と折衝・調整を行う。		②信頼関係の構築 受講者をよく把握し、信頼関係を構築する。		②段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。	
		③調整 円滑に業務が行えるよう関係者と調整を行う。				
重要マネジメント項目	業務運営	重要マネジメント項目	業務運営		5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	
					①トラブル対応 問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。	①トラブル対応 問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。
					②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	②効率的な業務運営 業務の目的と求められる成果水準を踏まえ、時間や労力の面から効率的に業務を進める。
					③業務の見直し 業務の優先順位を意識し、廃止も含めた業務の見直しや、業務の改善を進める。	
組織統率・人材育成		部下の育成・活用			6 適切に業務を配分した上、進捗管理及び的確な指示を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	
					①体制整備 円滑に業務遂行ができるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。
					②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。	②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題のあるときは適切に指導する。
					③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	

12. 技能・労務

職長級(4項目行動11着眼点)			係員級(4項目行動10着眼点)		
倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	
	①責任感	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
知識・技能・業務遂行	2 担当業務についての知識・技能及び経験に基づき、的確に業務を遂行する。		知識・技能	2 業務に必要な知識・技能を習得する。	
	①高度な知識・技能	高いレベルの知識・技能や経験を有し、困難な事案や特殊事例にも対応する。		①知識・技能	業務を通じ、知識・技能を向上させる。
	②課題把握	課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。		②情報収集	業務に関係する情報を収集・整理する。
協調性	3 部下等と協力的な関係を構築する。		コミュニケーション	3 上司・同僚等と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。	
	①円滑な調整	部下や関係者と円滑なコミュニケーションを行う。		①指示・指導の理解	上司や周囲の指示・指導を正しく理解する。
	②誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。		②誠実な対応	相手に対し誠実な対応をする。
業務管理	4 適切に作業の割り振りを行い、効率的に業務を進めるとともに、部下等に対する指導又は関係者との適切な連絡調整を行う。		業務遂行	4 意欲的に業務に取り組む。	
	①段取り	業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①正確さ	正確に業務を行う。
	②業務改善	効率的な業務執行を行う。		②迅速さ	迅速に業務を行う。
	③正確・迅速	正確・迅速に業務を行う。		③期限遵守	指示され又は定められた期限を遵守する。
	④業務配分	職員等の配置・作業の割り振りを行う。		④積極性	自分の仕事の範囲に限定することなく、未経験の業務に積極的に取り組む。
	⑤指導・育成	部下を指導・育成する。			

13. 船舶運航

小型船舶 船長級(4項目行動11着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
知識・技能・業務遂行	2 担当業務についての知識・技能及び経験に基づき、的確に業務を遂行する。
	①高度な知識・技能 高いレベルの知識・技能や経験を有し、困難な事案や特殊事例にも対応する。
	②課題把握 課題を的確に把握し、業務上の判断に反映する。
判断・指示	3 現場の状況に応じ、適切な判断・指示を行う。
	①最適な選択 採り得る選択肢の中から、現場の状況を踏まえ最適な選択を行う。
	②適時の判断・指示 適切なタイミングで判断・指示を行う。
業務管理	4 適切に作業の割り振りを行い、効率的に業務を進めるとともに、部下の指導を行う。
	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。
	②業務改善 効率的な業務執行を行う。
	③正確・迅速 正確・迅速に業務を行う。
	④業務配分 職員等の配置・作業の割り振りを行う。
	⑤指導・育成 部下を指導・育成する。

14. 政策企画立案等支援

高度分析交渉官(5項目行動11着眼点)		分析官(4項目行動8着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、責任を持って重要課題に取り組み、ともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、責任を持って重要課題に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って課題に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
情報の収集	2 組織方針の実現に向け、特定の行政分野において重要な関係にある者等との信頼関係を構築し、連携を確保した上で、質の高い情報を収集する。	知識・技術	2 特定の行政分野における高度な専門的知識及び経験に基づき、調査、研究、情報の収集及び分析等を行う。
	①信頼関係の構築 円滑な合意形成に資するよう、重要な関係にある者等と日ごろから信頼関係を構築する。		①高度な知識・技術 高度な専門的知識及び経験を有し、担当する行政分野の事案に対応する。
	②情報の収集 重要課題に関する質の高い情報の収集・整理を行う。		②分析 担当する特定の行政分野に関し合理的な調査、研究、情報の収集及び分析等を行う。
知識・技術	3 特定の行政分野の重要課題について、極めて高度な専門的知識及び豊富な経験等に基づき、困難な調査、研究、分析等を行う。	助言・提言	3 調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、適切な助言・提言等を行い、施策の企画・立案等を支援する。
	①極めて高度な知識・経験 極めて高度な専門的知識や豊富な経験を有し、担当する行政分野の困難な事案や特殊事例にも対応する。		①適切な助言・提言 調査、研究、情報の分析等の結果に基づき、適切な助言・提言を行う。
	②分析 担当する特定の行政分野に関し困難な調査、研究、分析等を行う。		②支援 施策の課題を的確に把握し企画・立案等を支援する。
助言・提言・調整	4 特定の行政分野の重要課題について、的確な助言・提言や必要となる困難な調整等を行うことにより、部局を横断する重要課題等に係る政策の企画・立案等を支援する。	業務遂行	4 段取りや手順を整え、効率的に業務を遂行する。
	①的確な助言・提言 特定の行政分野の重要課題について、調査、研究、分析等の結果に基づき、的確な助言・提言を行う。		①効率的な業務 効率的に業務を進める。
	②折衝・調整 組織方針を実現できるよう、重要な関係にある者等と困難な折衝・調整を行う。		②段取り 業務の展開を見直し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。
業務遂行	5 コスト意識を持って効率的に業務を遂行する。		
	①効率的な業務 時間や労力の面から効率的に業務を進める。		
	②先見性 先々で起こり得る事態や自分が打つ手の及ぼす影響を予測して対策を想定するなど、先を読みながらものを進める。		

15. 検疫衛生・食品監視：(1) 検疫所本所

検疫所本所・所長級(6項目行動13着眼点)		検疫所本所・企画調整官級(6項目行動13着眼点)		検疫所本所・課長級(6項目行動13着眼点)		検疫所本所・専門官級(6項目行動14着眼点)		検疫所本所・係長級(5項目行動13着眼点)		検疫所本所・係員級(4項目行動11着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、担当業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、高い倫理感を有し、機関の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、担当業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
構想	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	構想	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	執行方針の徹底	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	執行方針の徹底	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	知識・技術・判断	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	知識・技術	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	2 本省の方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、業務運営の基本的な方針を示す。		2 本省等の方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、業務運営の方針を示す。		2 本省等の方針に基づき、業務の執行方針を徹底する。		2 本省等の方針に基づき、課長を助け、業務の執行方針を徹底する。		2 検疫衛生・食品監視業務についての専門的知識・技術に基づき、自ら処理すべき事業について、適切な判断を行う。		2 検疫衛生・食品監視業務に必要な知識・技術を習得する。
知識・技術・判断	①ニーズの把握 業務に求められるニーズを的確に把握し、検疫所としての方針に反映させる。	知識・技術・判断	①状況の構造的把握 所内の情報の中核として複雑な因果関係、絡み合った利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。	執行方針の徹底	①組織目標の徹底 本省等から示された方針に基づき、業務の執行方針を部下に浸透させる。	執行方針の徹底	①組織目標の徹底 本省等から示された方針に基づき、課長を助け、業務の執行方針を部下に浸透させる。	知識・技術・判断	①知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。	知識・技術	①知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。
	②組織目標・成果の明示 本省の基本方針を基に、新たな取組への挑戦も含め、現場としての組織目標や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。		②業務運営方針・成果の明示 業務に関連する情報収集を幅広く行うとともに、新たな取組への挑戦も含め、業務運営の実施方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。		②情報収集 業務に関連する情報収集を幅広く行う。		②情報収集 業務に関連する情報収集を収集・整理する。		②情報収集 業務に関する情報を収集・整理する。		②情報収集 業務に関する情報を収集・整理する。
知識・技術・判断	③ 検疫衛生・食品監視業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、機関の責任者として、適切な判断を行う。	知識・技術・判断	③ 検疫衛生・食品監視業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、担当業務の責任者として、適切な判断を行う。	知識・技術・判断	③ 検疫衛生・食品監視業務についての十分な専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、所管する事業について、適切な判断を行う。	知識・技術・判断	③ 検疫衛生・食品監視業務についての専門的知識・技術及び豊富な経験に基づき、困難な事業について、適切な判断を行う。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚や申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	④大所高所の判断 事業に対し、全体バランスを考慮した大所高所の判断を下す。		④高度な知識・技術及び適切な判断 高いレベルの知識・技術や経験を有し、困難な事業や特殊事業にも、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。		④役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断に付加できることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。		④部内のコミュニケーション 上司・部下と円滑なコミュニケーションを行う。		④相手方とのコミュニケーション 申請等の相手方に対し適切なコミュニケーションをとる。		
連携の確保	⑤最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	連携の確保	⑤最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	連携の確保	⑤最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。	連携の確保、説明・指導	⑤最適な選択 困難な事業について、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。	説明・指導	4 申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	業務遂行	①正確さ 正確に業務を行う。
	4 対外的に機関を代表し、関係者と連携して円滑に業務を進めることができるよう、信頼関係を構築する。		4 所長を助け、関係者との信頼関係を構築し、連携して業務を進める。		4 関係者との信頼関係を構築し、連携して事業に対応する。		4 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築するとともに、困難な事業についても、申請等の相手方に対して論理的な説明・指導を行う。		①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすい説明する。		②迅速さ 迅速に業務を行う。
重要マネジメント項目	①信頼関係の構築 関係機関・関係団体との信頼関係を構築する。	連携の確保	①円滑な調整 関係機関・部署との調整を円滑に行う。	連携の確保	①円滑な調整 関係機関・部署との調整を円滑に行う。	連携の確保、説明・指導	①部内のコミュニケーション 上司・部下や関係部署と円滑なコミュニケーションを行う。	説明・指導	②相手方の理解 相手の話のポイントを正しく理解する一方、事実関係に基づき的確に指示等を行う。	業務遂行	③複数事業の管理 複数の事業を同時進行的に管理する。
	②折衝・調整 円滑に業務が遂行できるよう関係者と折衝・調整を行う。		②関係者との連携 関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②関係者との連携 関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②説明・指導 申請等の相手方に対し説明・指導を適切に行う。		④緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。		
業務運営	5 不断の業務見直しに率先して取り組む。	重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務遂行	5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	業務遂行	5 法令や執行方針に基づき、的確に業務を遂行する。	業務遂行	①正確さ 正確に業務を行う。
	①トラブル対応 問題やトラブルが起こった場合の早期対応を適切に行う。		①段取り 業務の展開を見直し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①段取り 業務の展開を見直し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①正確・迅速 正確・迅速に業務を行う。		②迅速さ 迅速に業務を行う。		
組織統率	②効率的な業務運営 限られた業務時間と人員を前提に、業務の目的と求められる成果水準を部下と共有しつつ、効率的に業務を進める。	重要マネジメント項目	②業務改善 コスト意識を持ち、業務改善に取り組む。	重要マネジメント項目	②業務改善 コスト意識を持ち、業務改善に取り組む。	業務遂行	②複数事業の管理 複数の事業を同時進行的に管理する。	業務遂行	③緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。	業務遂行	④緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。
	6 指導力を発揮し、組織統率を行い、成果を挙げる。		6 管轄する組織の業務運営に關し、的確な指示を行うとともに、部下を統率し、成果を挙げる。		6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。		6 部下の指導、育成及び活用を行う。				
組織統率	①体制整備 円滑に業務遂行ができるよう、柔軟な働き方を推奨しながら体制を整える。	組織統率	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。	組織統率・人材育成	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。	部下の育成・活用	①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。	部下の育成・活用	②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。	業務遂行	②緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。
	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。		②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。		②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。						
組織統率	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	組織統率	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	組織統率・人材育成	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	部下の育成・活用	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	部下の育成・活用	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	業務遂行	③緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。
	④部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。		④部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。		④部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。						

15. 検疫衛生・食品監視：(2) 検疫所支所

検疫所支所・支所長級(6項目行動13着眼点)		検疫所支所・課長級(6項目行動13着眼点)		検疫所支所・専門官級(6項目行動14着眼点)		検疫所支所・係長(5項目行動13着眼点)		検疫所支所・係員級(4項目行動11着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
執行方針の徹底	2 本省等の方針に基づき、行政ニーズを踏まえ、業務運営の方針を示す。	執行方針の徹底	2 本省等の方針に基づき、業務の執行方針を徹底する。	執行方針の徹底	2 本省等の方針に基づき、課長を助け、業務の執行方針を徹底する。	知識・技術・判断	2 検疫衛生・食品監視業務についての専門的知識・技術に基づき、自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	知識・技術	2 検疫衛生・食品監視業務に必要な知識・技術を習得する。
	①状況の把握 所内の情報の中枢として複雑な因果関係、錯綜した利害関係など業務とそれを取り巻く状況の全体像を的確に把握する。		①組織目標の徹底 本省等から示された方針に基づき、業務の執行方針を部下に浸透させる。		①組織目標の徹底 本省等から示された方針に基づき、課長を助け、業務の執行方針を部下に浸透させる。		①知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。		①知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。
	②業務運営方針・成果の提示 業務に関連する情報収集を幅広く行うとともに、新たな取組への挑戦も含め、業務運営の方針や達成すべき成果を具体的に示し、部下に理解させる。		②情報収集 業務に関連する情報収集を幅広く行う。		②情報収集 業務に関連する情報収集を収集・整理する。		②情報収集 業務に関する情報を収集・整理する。		②情報収集 業務に関する情報を収集・整理する。
知識・技術・判断	3 検疫衛生・食品監視業務についての十分な専門的知識・技術及び経験に基づき、機関の責任者として、適切な判断を行う。	知識・技術・判断	3 検疫衛生・食品監視業務についての専門的知識・技術及び経験に基づき、所管する事案について、適切な判断を行う。	知識・技術・判断	3 検疫衛生・食品監視業務についての専門的知識・技術及び経験に基づき、困難な事案について、適切な判断を行う。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚や申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	①高度な知識・技術及び適切な判断 高いレベルの知識・技術や経験を有し、困難な事案や特殊事案にも、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。		①高度な知識・技術及び適切な判断 高いレベルの知識・技術や経験を有し、困難な事案や特殊事案にも、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。		①役割認識 自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。		①部内のコミュニケーション 上司・部下と円滑なコミュニケーションを行う。		①部内のコミュニケーション 上司・同僚と円滑なコミュニケーションをとる。
	②最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		②最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		②最適な選択 困難な事案について、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。		②相手方とのコミュニケーション 申請等の相手方に対し適切なコミュニケーションをとる。		②相手方とのコミュニケーション 申請等の相手方に対し適切なコミュニケーションをとる。
連携の確保	4 対外的に機関を代表して関係者との信頼関係を構築し、連携して業務を進める。	連携の確保	4 関係者との信頼関係を構築し、連携して事案に対応する。	信頼関係の構築・説明・指導	4 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築するとともに、困難な事案についても、申請等の相手方に対して論理的な説明・指導を行う。	説明・指導	4 申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	業務遂行	4 意欲的に業務に取り組む。
	①信頼関係の構築 関係機関・部署との信頼関係を構築する。		①円滑な調整 関係機関・部署との調整を円滑に行う。		①部内のコミュニケーション 上司・部下や関係部署と円滑なコミュニケーションを行う。		①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		①正確さ 正確に業務を行う。
	②関係者との連携 関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②関係者との連携 関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②説明・指導 申請等の相手方に対し説明・指導を適切に行う。		②相手の話の理解 相手の話のポイントを正しく理解する一方、事実関係に基づき的確に指示等を行う。		②迅速さ 迅速に業務を行う。
重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務遂行	5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。	業務遂行	5 法令や執行方針に基づき、的確に業務を遂行する。		5 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。
	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①正確・迅速 正確・迅速に業務を行う。		①正確さ 正確に業務を行う。		
	②業務改善 コスト意識を持ち、業務改善に取り組む。		②業務改善 コスト意識を持ち、業務改善に取り組む。		②複数事業の管理 複数の事業を同時進行的に管理する。		②迅速さ 迅速に業務を行う。		
組織統率・人材育成	6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	組織統率・人材育成	6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。	部下の育成・活用	6 部下の指導、育成及び活用を行う。		6 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。		6 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。
	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①作業の割り振り 部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。		①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		
	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。		②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。		②部下の育成 部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。		②複数事業の管理 複数の事業を同時進行的に管理する。		
	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。	④緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。	④緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。					

15. 検疫衛生・食品監視：(3) 検疫所出張所

検疫所出張所・出張所長級(6項目行動13着眼点)		検疫所出張所・係長級(5項目行動13着眼点)		検疫所出張所・係員級(4項目行動11着眼点)	
倫理	1 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
	①責任感 国民全体の奉仕者として、機関の課題に責任を持って取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性 服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
執行方針の徹底	2 本省等の方針に基づき、業務の執行方針を徹底する。	知識・技術・判断	2 検疫衛生業務についての専門的知識・技術に基づき、自ら処理すべき事案について、適切な判断を行う。	知識・技術	2 検疫衛生業務に必要な知識・技術を習得する。
	①組織目標の徹底 本省等から示された方針に基づき、業務の執行方針を部下に浸透させる。		①知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。		①知識・技術の向上 業務を通じ、知識・技術を向上させる。
	②執行方針 業務に関連する情報収集を幅広く行うとともに業務の執行方針を徹底する。		②情報収集 業務に関係する情報を収集・整理する。		②情報収集 業務に関係する情報を収集・整理する。
知識・技術・判断	3 検疫衛生業務についての専門的知識・技術及び経験に基づき、機関の責任者として、適切な判断を行う。	協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。	コミュニケーション	3 上司・同僚や申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。
	①高度な知識・技術及び適切な判断 高いレベルの知識・技術や経験を有し、困難な事案や特殊事案にも、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。		①部内のコミュニケーション 上司・部下と円滑なコミュニケーションを行う。		①部内のコミュニケーション 上司・同僚と円滑なコミュニケーションをとる。
	②最適な選択 採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		②相手方とのコミュニケーション 申請等の相手方に対し適切なコミュニケーションをとる。		②相手方とのコミュニケーション 申請等の相手方に対し適切なコミュニケーションをとる。
連携の確保	4 対外的に機関を代表して関係者との信頼関係を構築し、連携して業務を進める。	説明・指導	4 申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。	業務遂行	4 意欲的に業務に取り組む。
	①信頼関係の構築 関係機関・部署との信頼関係を構築する。		①説明 ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		①正確さ 正確に業務を行う。
	②関係者との連携 関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②相手の話の理解 相手の話のポイントを正しく理解する一方、事実関係に基づき的確に指示等を行う。		②迅速さ 迅速に業務を行う。
重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。	業務遂行	5 法令や執行方針に基づき、的確に業務を遂行する。		④緊張状態の持続 集中した状態での仕事を継続的にこなす。
	①段取り 業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①正確さ 正確に業務を行う。		
	②業務改善 コスト意識を持ち、業務改善に取り組む。		②迅速さ 迅速に業務を行う。		
組織統率・人材育成	6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。				
	①業務の割当て 課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。				
	②意思疎通と進捗管理 部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。				
	③部下の成長支援 適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。				

15. 検疫衛生・食品監視：(4) 地方厚生局本局

地方厚生局本局・課長級(6項目行動13着眼点)			地方厚生局本局・専門官級(6項目行動13着眼点)			地方厚生局本局・専門職級(5項目行動13着眼点)			地方厚生局本局・係員級(4項目行動11着眼点)		
倫理	1 国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		倫理	1 国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組むとともに、服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。	
	①責任感	国民全体の奉仕者として、所管する業務の課題に責任を持って取り組む。		①責任感	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。		①責任感	国民全体の奉仕者として、責任を持って業務に取り組む。
	②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。		②公正性	服務規律を遵守し、公正に職務を遂行する。
執行方針の徹底	2 本省等の方針に基づき、業務の執行方針を徹底する。		執行方針の徹底	2 本省等の方針に基づき、課長を助け、業務の執行方針を徹底する。		知識・技術・判断	2 食品監視業務についての専門的知識・技術に基づき、自ら処理すべき事業について、適切な判断を行う。		知識・技術	2 食品監視業務に必要な知識・技術を習得する。	
	①組織目標の徹底	本省等から示された方針に基づき、業務の執行方針を部下に浸透させる。		①組織目標の徹底	本省等から示された方針に基づき、課長を助け、業務の執行方針を部下に浸透させる。		①知識・技術の向上	業務を通じ、知識・技術を向上させる。		①知識・技術の向上	業務を通じ、知識・技術を向上させる。
	②執行方針	業務に関連する情報収集を幅広く行うとともに業務の執行方針を徹底する。		②情報収集	業務に関連する情報収集を収集・整理する。		②情報収集	業務に関する情報を収集・整理する。		②情報収集	業務に関する情報を収集・整理する。
知識・技術・判断	3 食品監視業務についての十分な専門的知識・技術及び経験に基づき、所管する事業について、適切な判断を行う。		知識・技術・判断	3 食品監視業務についての専門的知識・技術及び経験に基づき、困難な事業について、適切な判断を行う。		協調性	3 上司・部下等と協力的な関係を構築する。		コミュニケーション	3 上司・同僚や申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとる。	
	①高度な知識・技術及び適切な判断	高いレベルの知識・技術や経験を有し、困難な事業や特殊事業にも、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。		①役割認識	自ら処理すべきこと、上司の判断にゆだねることの仕分けなど、自分の果たすべき役割を的確に押さえながら業務に取り組む。		①部内のコミュニケーション	上司・部下と円滑なコミュニケーションを行う。		①部内のコミュニケーション	上司・同僚と円滑なコミュニケーションをとる。
	②最適な選択	採り得る戦略・選択肢の中から、進むべき方向性や現在の状況を踏まえ最適な選択を行う。		②最適な選択	困難な事業について、判断材料や経験を基に適切な判断を行う。		②相手方とのコミュニケーション	申請等の相手方に対し適切なコミュニケーションをとる。		②相手方とのコミュニケーション	申請等の相手方に対し適切なコミュニケーションをとる。
連携の確保	4 関係者との信頼関係を構築し、連携して事業に対応する。		信頼関係の構築、説明・指導	4 上司・部下・関係部署等との信頼関係を構築するとともに、困難な事業についても、申請等の相手方に対して論理的な説明・指導を行う。		説明・指導	4 申請等の相手方と円滑かつ適切なコミュニケーションをとり、分かりやすい説明・指導を行う。		業務遂行	4 意欲的に業務に取り組む。	
	①円滑な調整	関係機関・部署との調整を円滑に行う。		①部内のコミュニケーション	上司・部下や関係部署と円滑なコミュニケーションを行う。		①説明	ポイントを整理し、筋道を立てて分かりやすく説明する。		①正確さ	正確に業務を行う。
	②関係者との連携	関係者・関係団体との関係を構築し、連携して業務に取り組む。		②説明・指導	申請等の相手方に対し説明・指導を適切に行う。		②相手の話の理解	相手の話のポイントを正しく理解する一方、事実関係に基づき的確に指示等を行う。		②迅速さ	迅速に業務を行う。
重要マネジメント項目	5 コスト意識を持って効率的に業務を進める。		業務遂行	5 段取りや手順を整え、効率的に業務を進める。		業務遂行	5 法令や執行方針に基づき、的確に業務を遂行する。		業務遂行	5 緊張状態の持続	
	①段取り	業務の展開を見通し、前もって段取りや手順を整えて仕事を進める。		①正確・迅速	正確・迅速に業務を行う。		①正確さ	正確に業務を行う。			
	②業務改善	コスト意識を持ち、業務改善に取り組む。		②複数事業の管理	複数の事業を同時進行的に管理する。		②迅速さ	迅速に業務を行う。			
組織統率・人材育成	6 適切に業務を配分した上、進捗管理を行い、成果を挙げるとともに、部下の指導・育成を行う。		部下の育成・活用	6 部下の指導、育成及び活用を行う。							
	①業務の割当て	課題の重要性や部下の役割・能力・状況を踏まえて、柔軟な働き方を推奨しながら、組織の中で適切に業務を割り当てる。		①作業の割り振り	部下の一人ずつの仕事の状況や負荷を的確に把握し、適切に作業を割り振る。						
	②意思疎通と進捗管理	部下との双方向の適切なコミュニケーションにより部下の業務の進捗管理をする。		②部下の育成	部下の育成のため、的確な指示やアドバイスを与え、問題があるときは適切に指導する。						
	③部下の成長支援			適切な指導を行い、多様な経験の機会を提供して能力開発を促すなど、部下の成長を支援し、その力を引き出す。			④緊張状態の持続		緊張した状態での仕事を継続的にこなす。		

別紙2

評語等の解説

1 能力評価

全体評語(幹部職員)

(事務次官、厚生労働審議官及び医務技監)

甲	:	当該職位として求められる能力が発揮されている状況である。
乙	:	当該職位の求められる能力が一部しか、又は、ほとんど発揮されていない状況である。

(第10条第1号に掲げる職員のうち事務次官、厚生労働審議官及び医務技監を除く職員)

A	:	当該職位として優秀な能力発揮状況である。
B	:	当該職位として求められる能力が発揮されている状況である。
C	:	当該職位の求められる能力が一部しか、又は、ほとんど発揮されていない状況である。

全体評語(高度分析交渉官及び課長級以下)

卓越して優秀	:	望ましい行動を上回る行動が常に確実にとられ、又は大きく上回る行動がとられており、当該職位として卓越して優秀な能力発揮状況である。 <別格の特別な能力の高さを持っており、他の職員が真似できないレベル。特に顕著な成果・貢献等が期待できるレベル。>
非常に優秀	:	望ましい行動を上回る行動が頻繁にとられており、当該職位として非常に優秀な能力発揮状況である。 <他の職員の模範(ロールモデル)であり、具体的な行動を学んだり模倣したりする対象となる人材レベル。極めて高い成果・貢献等が期待できるレベル。>
優良	:	望ましい行動がとられており、かつ、しばしば望ましい行動を上回る行動も見られており、当該職位として優良な能力発揮状況である。 <主体的に仕事に取り組み、高い視野で物事の勤所を理解して段取りよく動き、高い水準の成果・貢献等が期待できるレベル。>
良好	:	望ましい行動が基本的にとられており、当該職位として良好な能力発揮状況である。 <職位に応じた仕事は過不足なくこなせるレベル。更なる伸びしろも認められる。>
やや不十分	:	望ましい行動がとられないことがやや多く、当該職位として十分な能力発揮状況とはいえず、改善が必要である(1回のこの評価のみでは、当該職位の職務を遂行するために求められる能力を発揮していないとまではいえない。)
不十分	:	望ましい行動がとられておらず、当該職位に必要な能力発揮状況でなく、大きく改善が必要である(当該職位の職務を遂行するために求められる能力の発揮の程度に達しておらず、降任等を検討するレベルである。)

個別評語(評価項目及び行動ごとの評語)(高度分析交渉官及び課長級以下)

<倫理以外>

卓越して優秀	:	望ましい行動を上回る行動が常に確実にとられ、又は大きく上回る行動がとられていた。
非常に優秀	:	望ましい行動を上回る行動が頻繁にとられていた。
優良	:	望ましい行動がとられており、かつ、しばしば望ましい行動を上回る行動も見られた。
良好	:	望ましい行動が基本的にとられていた。
やや不十分	:	望ましい行動がとられないことがやや多かった。
不十分	:	望ましい行動が全くとられていなかった。

<倫理>

◎	:	望ましい行動がとられており、他の職員の模範となるような状況であった。
○	:	望ましい行動が基本的にとられていた。
△	:	望ましい行動がとられないことがやや多かった、又は全くとられていなかった。

2 特別評価

全体評語

可	:	「不可」には該当しない状態である。
不可	:	望ましい行動がほとんどとられておらず、当該職位に必要な能力発揮状況でない。(当該職位の職務を遂行するために求められる能力の発揮の程度に達していない。)

3 業績評価

全体評語(幹部職員)

(事務次官、厚生労働審議官及び医務技監)

甲	: 今期当該ポストに求められた役割を果たした。
乙	: 今期当該ポストに求められた役割を一部しか、又は、ほとんど果たしていなかった。

(第10条第1号に掲げる職員のうち事務次官、厚生労働審議官及び医務技監を除く職員)

A	: 今期当該ポストに求められた以上の役割を果たした。
B	: 今期当該ポストに求められた役割を果たした。
C	: 今期当該ポストに求められた役割を一部しか、又は、ほとんど果たしていなかった。

全体評語(高度分析交渉官及び課長級以下)

卓越して優秀	: 今期当該ポストに求められた役割を果たし、かつ、極めて重要又は困難な課題について、まれにみる顕著な成果をあげ、又は貢献等をしており、今期当該ポストに求められた水準をはるかに上回る、他の職員では果たし得ない卓越した役割を果たした。
非常に優秀	: 今期当該ポストに求められた役割を果たし、かつ、特に重要又は困難な課題について、非常に大きな成果をあげ、又は貢献等をしており、今期当該ポストに求められた水準を大きく上回る役割を果たした。
優良	: 今期当該ポストに求められた役割を果たし、かつ、しばしば期待を上回る成果をあげ、又は貢献等をしており、今期当該ポストに求められた水準以上の役割を果たした。
良好	: 基本的に、今期当該ポストに求められた水準の成果や貢献等を期待どおりあげ、求められた役割を果たした。
やや不十分	: 今期当該ポストに求められた水準を下回る成果や貢献等であり、求められた役割を果たしていなかった(1回のこの評価のみでは当該ポストに求められる役割を果たしていないとまではいえない。)
不十分	: 今期当該ポストに求められた成果や貢献等がほとんどなく、求められた役割を果たしていなかった(当該ポストに求められた役割を果たしておらず、降任等を検討するレベルである。)

困難度・重要度(高度分析交渉官及び課長級以下)

◎	: 当該職位にある者全てには期待することが困難と思われる目標、又は重要度が特に高いと思われる目標。
—	: ◎△のいずれにも該当しないもの。
△	: 当該職位にある者であれば達成することが容易と思われる目標、又は重要度が低いと思われる目標。
注)	「困難度」は主として目標ごとの評価において、「重要度」は主として全体評価において考慮するものとする。

個別評語(業務目標ごとの評語)(高度分析交渉官及び課長級以下)

卓越して優秀	: 目標を達成し、期待をはるかに上回る、まれにみる顕著な成果をあげ、又は貢献等をした。
非常に優秀	: 目標を達成し、期待を大きく上回る、非常に大きな成果をあげ、又は貢献等をした。
優良	: 目標を達成し、期待を上回る成果をあげ、又は貢献等をした。
良好	: 目標を達成し、期待どおりの成果や貢献等であった。
やや不十分	: 目標の達成が不十分であり、期待された水準を下回る成果や貢献等であった。
不十分	: 目標を達成できず、成果や貢献等がほとんどなかった。
(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・「貢献等」:組織として成果を挙げるに当たっての貢献(周囲に対する支援等の自主的・積極的な取組等)、業務遂行に当たっての創意工夫、効率的な業務遂行等 ・目標の達成状況等が被評価者に起因しない事由により影響を受けている場合には、その事由を適切に勘案するなど、職務遂行の過程も考慮に入れて評価。 ・特に困難度の高い目標については、未達成であることのみをもって低い評価とせず、達成状況や貢献等の水準を適切に勘案。